



笑顔をはこぶ「幸せちんどん隊」デビュー 「支え合いの街づくり」実践の場で活動

牛久市の市民ボランティアや市役所、社会福祉協議会の職員がちんどん隊(名称「幸せちんどん隊」)を結成、11月3日(土)に行われた、「うしくWaiワイまつり」会場内の“福祉健康コーナー”でたくさんの来場者が見つめるなか堂々のデビューを果たしました。

市民への浸透を目的に明るく楽しいものを

牛久市社会福祉協議会では、市民を交えたメンバーで構成する牛久市地域福祉活動計画策定委員会により、平成19年3月に牛久市地域福祉活動計画「みんなの幸せづくり計画」を策定しました。そのさまざまな計画の浸透を目的に、インパクトがあり盛り上がるものということでこの「幸せちんどん隊」が結成されました。



「みんなの幸せづくり計画」のパンフレットを配布

8月に結成メンバーは4名で活動

「幸せちんどん隊」のメンバーは、本業がピアノ講師でアコーディオン(リサイクルショップで1万円の掘り出しもの)を担当する市民ボランティアの星加敦子さん、土浦交響楽団のメンバーでもありトランペットを担当する牛久市秘書課の宮田修さん、

数回の練習とは思えない見事なデビュー



「幸せちんどん隊」全員集合! (この日は社協職員の中田健士さんを加え5名で実施)



星加敦子さん(アコーディオン担当 写真左) 宮田 修さん(トランペット担当 写真右)

金と太鼓の伊藤佳代さん、ピエロ役の佐々木一晃さんはいずれも牛久市社会福祉協議会の職員です。金・太鼓の木杵や紐などはボランティアの手作りで「まさにボランティアネットワークの賜物」と伊藤さん。9月

から練習を開始、「これまで練習は3、4回」とは思えないほど息の合ったデビューとなりました。

年配の人には懐かしく、子供たちには不思議な光景らしく、演奏が始まるとたくさんの人が取り囲み携帯で写真を撮る人もおり賑わいま



牛久市社会福祉協議会 事務局長 神戸文夫さん(写真左)同地域福祉担当係長 佐々木一晃さん(写真右)はピエロ役 この日は戦隊コスチューム(赤)で登場。



伊藤佳代さんは金と太鼓を担当

した。デビュー後にメンバーに感想を聞いて見ると、「皆が楽しそうに笑って見てくれた」また「緊張したが楽しんでもらえれば」と冷静に反応を聞かせてくれました。

牛久市内の60行政区で巡回

「幸せちんどん隊」の今後の活動は「支え合う地域づくり」活動のひとつ「認知症を理解しよう」という講座の前座として呼び込みの役割を担っています。現在特訓中の寸劇と合わせ3つのセットでこの講座を牛久市の60の地域(行政区分)で順次実施していくそうで、福祉やボランティアのイベントなどで大ブレイクの予感がします。

